

第2回「協議の場」(和歌山県地域医療構想(橋本保健医療圏域)
調整会議)議事録

日時：平成29年2月27日 19:30～20:20
場所：橋本保健所 2階 会議室

- 1 所長挨拶
- 2 議事

【仲主査説明】(議題①～③一括説明)

【池田議長(橋本保健所長)】

重症心身障害児の病床の取扱いは、全国一律ではなく、和歌山県独自の取扱いになります。今日、諮らせていただきたいのは、重症心身障害児の病床について、現状の病床から控除するという特例扱いするかということです。400床控除するという事になれば、地域医療構想の目標値の3000床の減少から、2600床の減少となりますが、控除するという事によろしいでしょうか。

【異議の意見はなし】

【池田議長(橋本保健所長)】

それでは、特例扱いにするということにします。

3つの議題について説明させていただきましたが、何か質問はありませんか。

【質問はなし】

【仲主査説明】(議題④⑤)

【池田議長(橋本保健所長)】

前回の会議以降、圏域内の病床の動きについて説明させていただきました。前回に比べて、山本病院が8床減少しています。山本委員、ご意見をお願いします。

【山本委員(山本病院)】

回復期病床の対象者が減少しているのです、35床に減らさざるを得なかったのが現状です。

【池田議長(橋本保健所長)】

この件について、何かご意見・質問等はありませんか。

【村上委員(伊都歯科医師会)】

聞いた話ですが、看護師が多くいないとすぐに雇えないとか、看護師が少ないから給料が高騰して条件が整えられないということです。また、医師に対するニーズとして、ここにこんな診療科があれば、希少な症例にも対応できるのにといいことを聞いています。県として、この橋本医療圏に、どれくらいの医師や看護師を配置しようと考えているのか教えていただきたい。

【池田議長(橋本保健所長)】

看護師の場合、医師のような地域枠がないので、県内にとどまってほしいという働きかけをしていると聞いてます。医師については地域枠があって、来年度からこの地域でも働いてもらえることになってます。医師がもっといればもっとできるのにといい意見は病院から聞きます。病院の方もご苦労いただいていますし、医大としても、できたら派遣したいと考えています。

【村上委員(伊都歯科医師会)】

地域のつながりとして、病院や医師が今こんな取組みをしていますというのを発信していただくと、それによって新しいことに気づくことによって、受診率の向上にもつながっていくと思います。橋本医療圏に、医師や看護師がきてもらいやすいようにも考えていただきたい。

【池田議長(橋本保健所長)】

和歌山県全体では医師数は全国平均よりも多いですが、和歌山市に集中しているので、和歌山市以外にも配置するために地域枠というのをもうけています。

【村上委員(伊都歯科医師会)】

地域枠は、十分機能しているのですか。

【池田議長(橋本保健所長)】

地域枠の医師はこれから出てきますので。

【村上委員(伊都歯科医師会)】

よろしくをお願いします。

【山本委員(山本病院)】

来年の4月から看護大学が開学されるということで、その枠は大きいと思いますが。

【池田議長(橋本保健所長)】

日赤看護学校が廃止されて、東京保健医療大学がきて、看護大学になって、定員が倍の90人になりました。

【山本委員(山本病院)】

県全体で緩和されると思いますが、この橋本医療圏域に来てもらえるような魅力的なものにしなくてはと思います。

【池田議長(橋本保健所長)】

他になれば、これで議事終了とさせていただきます。